



地域と大学がつながるサテライトってどんなところ？

最終回 地域と大学がつながる拠点としてのサテライト

西田 喜一

長いようで短かったこのコラムもこれで最後となりました。ご紹介してきた活動を念頭に、「地域と大学がつながる拠点としてのサテライト」について考えてみたいと思います。

サテライトは、様々な人が集い、学び、活動する拠点として定着してきました。しかし、単に事業を実施し、参加者を集めるだけでは、サテライトを拠点に各々が活動するまでには至りません。集った人たち同士をつなぎ、交流する努力を重ねなければ、そこに人と人のつながりは生まれてきません。多様な人が集う中で、人と人をつなぐのは、つながるための物理的な機会はもちろん、交流の中でお互いを理解・尊重し、学びあえる関係をどのように作りあげていくのか考えてきました。

多様な人が集まる場は、多様な意見の宝庫です。そして、それこそが一人ひとりの学びや活動を豊かにしていきます。しかし、何か一つのものをつくりあげようとするとき、それぞれの思いはいつも同じ方向を向いているわけではないので、容易にまとまらないこともよくあります。これは、一人ひとりがそれぞれに異なる意見を持っているからこそ起こることです。サテライトは、そのような多様な意見がぶつかり合いながら、学生も、地域の

人たちも、そして我々大学教職員も学び、成長していく場となっているのです。

そして、これまで点在していた地域の人たちの思いやチカラが、サテライトを媒介にしてつながってきています。前回ご紹介した「子育てマップづくり」は、その一つです。友の会とのマップづくりの活動がはじまり、子育てマップを作ろうとしている NPO 法人の方から地図作りの相談を受けたのをきっかけに、友の会の人たちと大学の教員をつなぐことができました。

このような役割を果たすことが、「地域と大学がつながる拠点としてのサテライト」の意義だと私は考えています。そして、サテライトが目指してきた「地域を支え、地域に支えられる」大学の一つのカタチが、少しずつ実を結びつつあると実感するとともに、これからも、サテライトのあり方を地域の人たちとともに追求していきたいと思います。

最後になりましたが、半年間お付き合いいただきありがとうございました。これからも岸和田サテライトをよろしくお願いいたします。

<にしだ・よしかず / 和歌山大学 岸和田サテライト
地域連携コーディネーター>

第 100 回 記念 わだい浪切サロンスペシャル

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

◆ 第 1 部 13:30 ~ 14:50

「データのチカラで子育てが
楽しくなるまちづくり」

話題提供者：満田 成紀（システム工学部 准教授）
長谷川 秀美さん（NPO 法人ここから Kit）

◆ 第 2 部 15:05 ~ 16:35

「紀伊半島と西国順礼
一縁起・旅・書物一」

話題提供者：大橋 直義（教育学部 准教授）

日時

2018 年 3 月 21 日 祝 13:00 ~ 16:45

場所

岸和田市立浪切ホール 4 階 特別会議室

（開場：12:30 開会・閉会挨拶あり）

☆講演来場者にはトートバッグのプレゼントがあります☆

◆ プログラミング体験教室も開催します。詳細は、岸和田サテライトのホームページをご覧ください。

わだい浪切サロンとは？

毎月第 3 水曜日（2 月と 8 月を除く）の夜 7 時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2 F

TEL & FAX : 072-433-0875

岸和田サテライト

検索